国語国文学専修
卒業論文成績優秀者
による研究成果
要旨集2021

自慢談話の語用論的分析

文17-515
中内　遥

研究の目的

・会話の中で、話者の意図が曖昧なものがコミュニケーションの失敗を招くことがある。その例として今回は「自慢」を取り上げる。
・特に日本の言語文化では直接的な自慢は避ける傾向にあり、それが曖昧さに繋がっているのではないかと考えた。
・これまでの研究で「自慢」が発話行為として類型化されている例は少ないので、今回の調査では「自慢」についての枠組みを整える。

自慢談話のコミュニケーション機能

自慢談話の発話を、コミュニケーション機能を用いて分類する。
①**状況説明**・・・自慢の語り手が自分の経験を説明している発話
②**効果的補強**・・・自慢の聞き手からの《賞賛》を引き出す発話
　ポジティブな効果的補強・・・婉曲的に自らの経験を持ち上げる
　ネガティブな効果的補強・・・自らの経験や自分自身を控えめに表現し、相手から否定されることで《賞賛》を引き出す
③**賞賛の促し**・・・《賞賛》を求めていることを表明する発話
④**対人配慮**・・・自慢の聞き手への気遣いや自己卑下の発話
また、自慢しにくい場面では、要点の前に**導入**が多くなる。

自慢談話の代表例（概要）

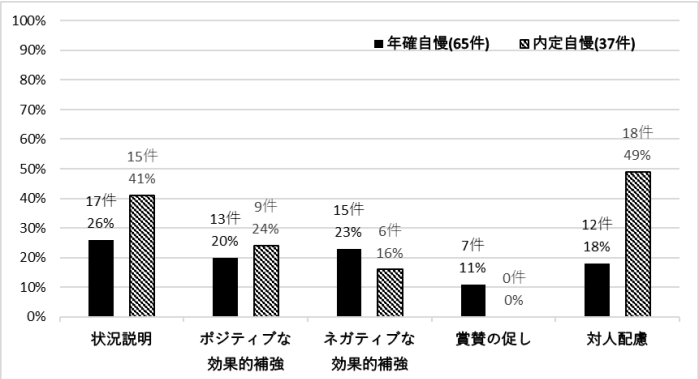
・調査対象は10組の若年層（大学生）女性日本語母語話者同士の会話である。全て調査者H（自慢の聞き手）と調査対象者S1～S10（自慢の話し手）のペアで会話を行い、会話を録音し、それを文字化したものを分析した。
・会話の話題は「**年確自慢（自慢しやすいもの）**」（左）と「**内定自慢（自慢しにくいもの）**」（右）の二つ用意した。
・「自慢しやすさ」は、**①参与者同士の立場に差が生まれるか**
②参与者同士がポジションを奪い合う関係であるか
以上の2点の違いにより差が生まれるものとする。

H：　なんか、ここのお店って全員に年確するねんな。　→話題提供
S1：　ほんまにそれなー。
　前の店でもさ。私。**この顔ででやで↑**　→ネガティブな効果的補強
　年確されてんで。　→状況説明
H：　いやいやいや。
S1：　そん時のメイクかな。**若く見られたみたいでー。**　→賞賛の促し
　なんか年確されてさー。　→状況説明
　びっくりした。
H：　私X（店名）で年確されたことない。
S1：　**普通でも、でもそうやんな。**なんかそれが、衝撃的すぎて。　→ポジティブな効果的補強

H：　第一志望の企業から連絡がこやんくって。　→話題提供
S5：　**大変やな。**　→対人配慮
　私は、コロナの前から結構やっとってんけど、やけど根こそぎ落ちてて。
　コロナで1カ月止まってる間に見つけたとこも6月の間にほぼほぼ落ちてー、
　最後、一番行きたかったとこだけ残っとったんよ。
　そこの最終で、是非的な感じで言われてー、
　無事に、恐らく、ってかほぼ確でっていう感じで話されてんけど。　→導入
　行けたかも、第一志望。　→状況説明
H：　うーんそ、かー。うーん。
S5：　**でも、ゼミの周りの子6月ぐらいに決まってたから2人ぐらい。**
　マジでプレッシャー凄かった。
　先生からもなんか、圧がすごかったから、
　とりあえず先生に怒られることはなんとか逃れそう。　→ネガティブな効果的補強
H：　そっかそっかー。うんうん。
S5：　うん、第一志望って書いて命綱って読んでる感じやったから
　もうほんまにそこしかなかったから。　→ネガティブな効果的補強

分類の結果

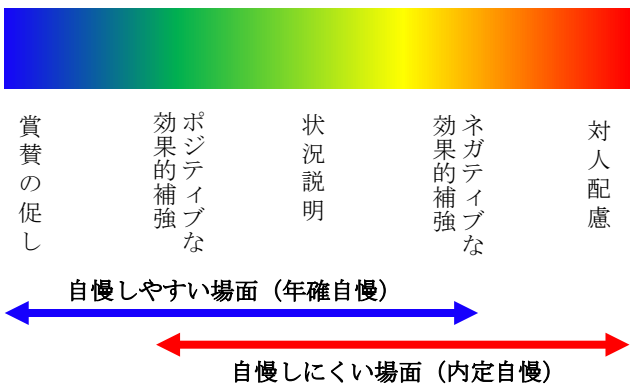
以下のグラフは、「自慢談話」内の自慢の話し手の発話件数と、それに対する各コミュニケーション機能の出現率をまとめたものである。
ただし、一つの発話で二つ以上のコミュニケーション機能が現れることもあるため、その際は複数カウントしている。
各場面名の後ろにある件数は、その場面での「自慢談話」内の話し手の発話総数である。



自慢の話し手の発話数に対する各コミュニケーション機能の出現率と発話件数

考察

直接的な自慢　　間接的な自慢



・自慢しやすい場面だと間接的に自慢したいときに効果的補強が現れるが、自慢しにくい場面だと直接的に自慢したいときに効果的補強が現れやすい。
＝**自慢しやすさの違いによって、効果的補強の働きが変わる。**
・どちらの場面でも間接的な自慢の機能が現れていることから、聞き手を配慮したり、話し手自身の体裁を気にしながら「自慢」をしていることがわかる。